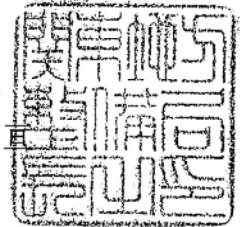




国関整企画第213号
平成29年2月21日

川崎市長
福田 紀彦 様

国土交通省関東地方整備局長
大西 直



直轄事業の事業計画等（川崎市関連分）について

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当地方整備局における平成29年度政府予算案における平成29年度事業計画等
[予定]のうち、川崎市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

（事業計画等は現時点における予定であり、今後の変更があり得ます。）

事務担当：（全 般） 企画部 企画課 企画第一係
（道 路） 道路部 道路計画第一課 計画第一係
（港湾・空港） 港湾空港部 港湾管理課 管理第一係

平成29年度 川崎市における事業計画(H29年2月)(道路関係〔直轄〕)

改築事業(幹線道路ネットワーク整備)

(単位:百万円)

路線名	箇所名	事業規模	全体事業費 (億円)	H28年度当初		H28年度事業内容	H29年度予定事業内容	H29年度事業進捗見込み	備 考
				事業費	負担金				
国道357号	東京湾岸道路(神奈川県区間)	L=35.1km	2,960	55	18	【多摩川トンネル】 ・調査推進: 調査設計 【東扇島地区】 ・調査推進: 調査設計	【多摩川トンネル】 ・調査推進: <調査設計> 【東扇島地区】 ・調査推進: <調査設計>	一~1億円程度	事業規模、全体事業費は、神奈川県区間、横浜市區間を含む 多摩川トンネル L=3.4km(2/2) 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定 東扇島地区 L=3.0km(4/4) 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
計				55	18				残事業費:約662億円

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある

(注)H29年度予定事業内容のうち< >書きは、上限値に近い事業費を配分する場合に実施するものである

(注)備考欄の残事業費は、平成28年度補正投入時点である

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある

(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある

平成29年度 川崎市における事業計画(H29年2月)(道路関係〔直轄〕)

改築事業(防災対策等)

(単位:百万円)

路線名	箇所名	事業規模	全体事業費 (億円)	H28年度当初		H28年度事業内容	H29年度予定事業内容	H29年度事業進捗見込み	備考
				事業費	負担金				
国道1号	川崎1号環境整備	L=2.8km	-	130	43	・調査推進: 調査設計 ・用地買収推進: 用地買収	・調査推進: 〈調査設計〉 ・用地買収推進: 〈用地買収〉 ・工事推進: 〈道路予定地管理〉	0.3~4億円程度	
国道15号	川崎15号環境整備	L=2.5km	-	5	2	・調査推進: 調査設計	・調査推進: 〈調査設計〉		
国道409号	川崎縦貫道路	L=8.0km	691	210	70	・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 改良工 電線共同溝工	・調査推進: 調査設計 ・工事推進: 〈改良工〉 〈電線共同溝工〉		川崎市川崎区 L=4.4km(4/4) 開通時期については、完成に向けた円滑な 事業実施環境が整った段階で確定予定
計				345	115				

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある

(注)H29年度予定事業内容のうち〈 〉書きは、上限値に近い事業費を配分する場合に実施するものである

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある

(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある

平成29年度 川崎市における事業計画(H29年2月)(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅱ種)

(単位:百万円)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	平成28年度当初		H28年度事業内容	H29年度予定事業内容	H29年度事業進捗見込み	備考
				事業費	負担額				
国道1号	-	-	-	68	34	防護柵、道路標識、区画線	防護柵、道路標識、区画線	0.1~1億円程度	
国道15号	-	-	-	10	5	防護柵、道路標識、区画線	防護柵、道路標識、区画線		
国道246号	-	-	-	48	24	防護柵、道路標識、区画線、情報提供機器(情報提供板)	防護柵、道路標識、区画線		
国道357号	-	-	-	6	3	道路標識、区画線	道路標識、区画線		
国道409号	-	-	-	6	3	道路標識、区画線	道路標識、区画線		
合 計			-	138	69				

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある。

(注)平成29年度予定事業内容のうち<>書きは、上限値に近い事業費を配分する場合に実施するものである。

平成29年度 川崎市における事業計画(H29年2月) (道路関係〔直轄〕)

電線共同溝事業

(単位:百万円)

箇所名等	事業規模	全体事業費 (億円)	H28年度当初 (百万円)		H28年度事業内容	H29年度予定事業内容	H29年度事業進捗見込み	備考
			事業費	負担金				
国道246号	神奈川246号電線共同溝		245	123				
	溝の口(2)電線共同溝	L=1.4km	10	230	調査設計、本体工事、支障物移設補償	調査設計、本体工事、支障物移設補償	1~4億円程度	開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
	梶が谷電線共同溝	L=0.8km	6	15	調査設計	調査設計、支障物移設補償、本体工事		開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
合 計			245	123				

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある。

(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある。

港湾関係事業29年度予算 事業計画通知(H29年2月)

【港湾整備事業】

港名	プロジェクト名	全体事業費 (億円)	平成28年度当初 (百万円)		平成28年度 事業内容	平成29年度予定 事業内容(注)	平成29年度 事業進捗見込 (注)	備考
			負担基本額	負担額				
川崎港	川崎港東扇島～水江町地区臨 港道路整備事業	540	9,272	3,091	道路	道路	- ～ 60億円程度	H30年代後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が 整った段階で確定予定

(注)H29年度予定事業内容及び事業進捗見込については、検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

※「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。

※今後、事業箇所を追加する場合があります。